

## 県外派遣報告書

審判員名	九里亜紀	所属	中体連
大会名	平成27(2015)年度 関東ブロック女性審判講習会		
期間	平成27年7月11日(土)・12日(日)		
会場	埼玉県北本市体育センター		
スケジュール			
期日	内容	場所	
7月11日(土)	ルールテスト・フィットネステスト	北本市体育センター	
7月12日(日)	実技	北本市体育センター	
会議 講義 内容			
<p>審査委員長 小林哲夫氏より持っている力を存分に発揮してほしい。今持っている力以上のことはできないのだから、自分の持っているものを出し切ってください。というお話がありました。</p> <p>関東協会審判長 安西郷史氏より1年間、自分が積み重ねてきたものを確認する場である。それぞれがここまで取り組んできたものを出してほしい、この講習会はA級の二次審査につながります。A級を取りに来てください。また、体調管理には気を付け、臨んでください。というお話がありました。</p>			
実技			
担当試合	期日	7月12日(日)	男子 女子
	対戦カード	共栄大学 VS 埼玉栄高校	女子 <b>主審</b> 副審
	相手審判	山崎 律子 (茨城県)	
ミーティング内容		主任	清水 幹治氏(神奈川県)
<p>・トレイルの際、踏み込んで見に行く必要がない場面でも、必要以上に見に行っていることがある。次に別のことが起こったとき、その動きがマイナスになってしまうこともあるから、その動き方を修正していくこと。</p>			
全体の感想			
<p>昨年、コートに立った際は、不安を感じ何も出来ずに終わりました。そして、その時の課題は「存在感」でした。1ゲーム判定し続ける力、大事な場面での存在感を意識し、1年間審判活動をしてきました。</p> <p>今回、4度目のチャンスをいただき、コートに立つことができたときは、不安ではなく、1年間やってきたことや、指導していただいたことを考えながら、審判に臨むことが出来ました。</p> <p>A級になることは、悪くてもA級、良い時はAA級の笛でなくてはならないと教えていただきました。二次審査では、力まず、自分の力を出し切れるよう、心と体の準備をし、臨みます。</p> <p>県内の指導委員の先生方をはじめ、この1年間たくさんの機会を与えていただき、指導・助言をしてくださった方々に感謝申し上げます。また、埼玉県の方々には、同県である我々受講生に対しても、細部にわたりお気遣いいただき、専念できる環境を作っていただいたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>			